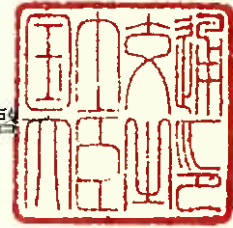


認 定 書

国住指第 2424 号
平成 29 年 11 月 2 日

株式会社北洲
代表取締役社長 村上 ひろみ 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第八号並びに同法施行令第 108 条第一号及び第二号（外壁（耐力壁）：各 30 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
PC030BE-0914-1
2. 認定をした構造方法等の名称
人造鉱物繊維断熱材充てん／仕上げ塗装樹脂モルタル塗・ロックウール保温板・構造用合板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

人造鉱物繊維断熱材充てん／仕上げ塗装樹脂モルタル塗・ロックウール保温板・構造用合板表張／せっこうボード裏張／木製枠組造外壁

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
壁の高さ	構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法
壁の厚さ	201.8mm 以上
たて枠間隔	500mm 以下

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項目	仕様																												
たて枠 (荷重支持部材)	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁のたて枠材 断面寸法：38×89mm以上																												
上枠、下枠	材料：平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の上枠及び下枠材 断面寸法：38×89mm以上																												
外装材	<p>材料：仕上げ塗装樹脂モルタル塗；①及び②</p> <p>①仕上げ塗り材 組成(質量%)：</p> <table> <tr> <td>白色セメント</td> <td>11.1(±1.1)</td> </tr> <tr> <td>水酸カルシウム</td> <td>12.2(±1.2)</td> </tr> <tr> <td>塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤</td> <td>2.2(±0.2)</td> </tr> <tr> <td>石英砂</td> <td>11.7(±1.2)</td> </tr> <tr> <td>方解石</td> <td>43.0(±4.3)</td> </tr> <tr> <td>カルシウム炭酸マグネシウム</td> <td>13.2(±1.3)</td> </tr> <tr> <td>二次元性結晶・パーライト</td> <td>5.9(±0.6)</td> </tr> <tr> <td>撥水剤・増膜剤</td> <td>0.7(±0.1)</td> </tr> </table> <p>塗厚：4mm以上 密度：1.3(±0.1)g/cm³以上</p> <p>②仕上げ塗装剤 配合(質量%)：</p> <table> <tr> <td>スティーロアクリル結合剤</td> <td>13.5(±1.4)</td> </tr> <tr> <td>アルキルシリコーン樹脂</td> <td>11.3(±1.1)</td> </tr> <tr> <td>クリストバライト</td> <td>31.9(±3.2)</td> </tr> <tr> <td>チタン二酸化物</td> <td>22.0(±2.2)</td> </tr> <tr> <td>増粘剤・界面活性剤・解膠剤・消泡剤</td> <td>2.9(±0.3)</td> </tr> <tr> <td>水</td> <td>18.4(±1.8)</td> </tr> </table> <p>塗厚：0.3mm以下</p>	白色セメント	11.1(±1.1)	水酸カルシウム	12.2(±1.2)	塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤	2.2(±0.2)	石英砂	11.7(±1.2)	方解石	43.0(±4.3)	カルシウム炭酸マグネシウム	13.2(±1.3)	二次元性結晶・パーライト	5.9(±0.6)	撥水剤・増膜剤	0.7(±0.1)	スティーロアクリル結合剤	13.5(±1.4)	アルキルシリコーン樹脂	11.3(±1.1)	クリストバライト	31.9(±3.2)	チタン二酸化物	22.0(±2.2)	増粘剤・界面活性剤・解膠剤・消泡剤	2.9(±0.3)	水	18.4(±1.8)
白色セメント	11.1(±1.1)																												
水酸カルシウム	12.2(±1.2)																												
塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤	2.2(±0.2)																												
石英砂	11.7(±1.2)																												
方解石	43.0(±4.3)																												
カルシウム炭酸マグネシウム	13.2(±1.3)																												
二次元性結晶・パーライト	5.9(±0.6)																												
撥水剤・増膜剤	0.7(±0.1)																												
スティーロアクリル結合剤	13.5(±1.4)																												
アルキルシリコーン樹脂	11.3(±1.1)																												
クリストバライト	31.9(±3.2)																												
チタン二酸化物	22.0(±2.2)																												
増粘剤・界面活性剤・解膠剤・消泡剤	2.9(±0.3)																												
水	18.4(±1.8)																												
下張材	<p>材料：ガラス繊維メッシュ入り樹脂モルタル；①及び②</p> <p>①樹脂モルタル 組成(質量%)：</p> <table> <tr> <td>白色セメント</td> <td>18.7(±1.8)</td> </tr> <tr> <td>水酸カルシウム</td> <td>14.1(±1.4)</td> </tr> <tr> <td>塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤</td> <td>2.0(±0.2)</td> </tr> <tr> <td>石英砂</td> <td>48.5(±4.8)</td> </tr> <tr> <td>石灰石</td> <td>15.6(±1.5)</td> </tr> <tr> <td>撥水剤・増膜剤</td> <td>1.1(±0.1)</td> </tr> </table> <p>塗厚：3.4mm以上 密度：1.0(±0.1)g/cm³以上</p> <p>②ガラス繊維メッシュ 厚さ：0.6mm以上 網目寸法：8.7×6.4mm以下 質量：160g/m³以上</p>	白色セメント	18.7(±1.8)	水酸カルシウム	14.1(±1.4)	塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤	2.0(±0.2)	石英砂	48.5(±4.8)	石灰石	15.6(±1.5)	撥水剤・増膜剤	1.1(±0.1)																
白色セメント	18.7(±1.8)																												
水酸カルシウム	14.1(±1.4)																												
塩化ビニルエチレン・塩化ビニルポリマー・シリケート増粘剤	2.0(±0.2)																												
石英砂	48.5(±4.8)																												
石灰石	15.6(±1.5)																												
撥水剤・増膜剤	1.1(±0.1)																												

つづく

つづき

外張断熱材	<p>材料：ロックウール保温板 種類：①又は② ①ロックウール保温板(JIS A 9504) ②ロックウール保温板 組成(質量%)：</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="padding-left: 20px;">二酸化けい素</td> <td style="text-align: right;">58.4(±5.9)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化アルミニウム</td> <td style="text-align: right;">1.9(±0.2)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化鉄</td> <td style="text-align: right;">8.4(±0.9)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化カルシウム</td> <td style="text-align: right;">19.8(±2.0)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化マグネシウム</td> <td style="text-align: right;">6.2(±0.7)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化ナトリウム</td> <td style="text-align: right;">4.5(±0.5)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">酸化チタン、酸化カリウム</td> <td style="text-align: right;">0.8(±0.1)</td> </tr> </table> <p>厚さ：80mm以上 密度：75kg/m³以上</p>	二酸化けい素	58.4(±5.9)	酸化アルミニウム	1.9(±0.2)	酸化鉄	8.4(±0.9)	酸化カルシウム	19.8(±2.0)	酸化マグネシウム	6.2(±0.7)	酸化ナトリウム	4.5(±0.5)	酸化チタン、酸化カリウム	0.8(±0.1)
二酸化けい素	58.4(±5.9)														
酸化アルミニウム	1.9(±0.2)														
酸化鉄	8.4(±0.9)														
酸化カルシウム	19.8(±2.0)														
酸化マグネシウム	6.2(±0.7)														
酸化ナトリウム	4.5(±0.5)														
酸化チタン、酸化カリウム	0.8(±0.1)														
構造用面材	<p>材料：構造用合板(日本農林規格に適合するもの) 厚さ：9mm以上</p>														
充てん断熱材	<p>材料：建築用断熱材(JIS A 9521) 種類：①又は② ①グラスウール 厚さ：90mm以上 密度：16kg/m³以上 ②ロックウール 厚さ：90mm以上 密度：20kg/m³以上</p>														
内装材	<p>材料：①又は② ①せっこうボード(JIS A 6901) ②強化せっこうボード(JIS A 6901) 厚さ：12.5mm以上</p>														

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
防湿気密フィルム	材料：①～④の一 ①住宅用プラスチック系防湿フィルム(JIS A 6930) 材質：ポリエチレン ②包装用ポリエチレンフィルム(JIS Z 1702) ③農業用ポリエチレンフィルム(JIS K 6781) ④なし 単位面積質量：100g/m ² 以下 厚さ：0.2mm以下
ころび止め	材料：①又は② ①なし ②平成13年国土交通省告示第1540号に適合する壁の枠材 断面寸法：38×89mm以上
内装材用目地処理材	材料：せっこうボード用目地処理材(兼用ジョイントコンパウンド、JIS A 6914) 塗布量：100g/m以上
留付材	構造用面材固定用： 材料：①又は② ①鉄丸くぎ(JIS A 5508) 寸法：N50以上 ②タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：胴部径φ3.0×長さ28mm以上 留付間隔：周辺部100mm以下(横目地部は除く)、中央部200mm以下 内装材固定用： 材料：①又は② ①せっこうボード用くぎ(JIS A 5508) 寸法：GN40以上 ②タッピンねじ 材質：1)又は2) 1)冷間圧造用炭素鋼(JIS G 3507-2) 2)冷間圧造用ステンレス鋼線(JIS G 4315) 寸法：胴部径φ2.5×長さ25mm以上 留付間隔：周辺部100mm以下(横目地部は除く)、中央部200mm以下 防湿気密フィルム固定用： 材料：①又は② ①工業用ステーブル(JIS A 5556) 材質：1)又は2) 1)ステンレス鋼線(JIS G 4309) 2)鉄線(JIS G 3532) 寸法：内幅9.6mm以上、足の長さ10mm以上 ②くぎ(JIS A 5508) 寸法：N19以上 留付間隔：300mm以下

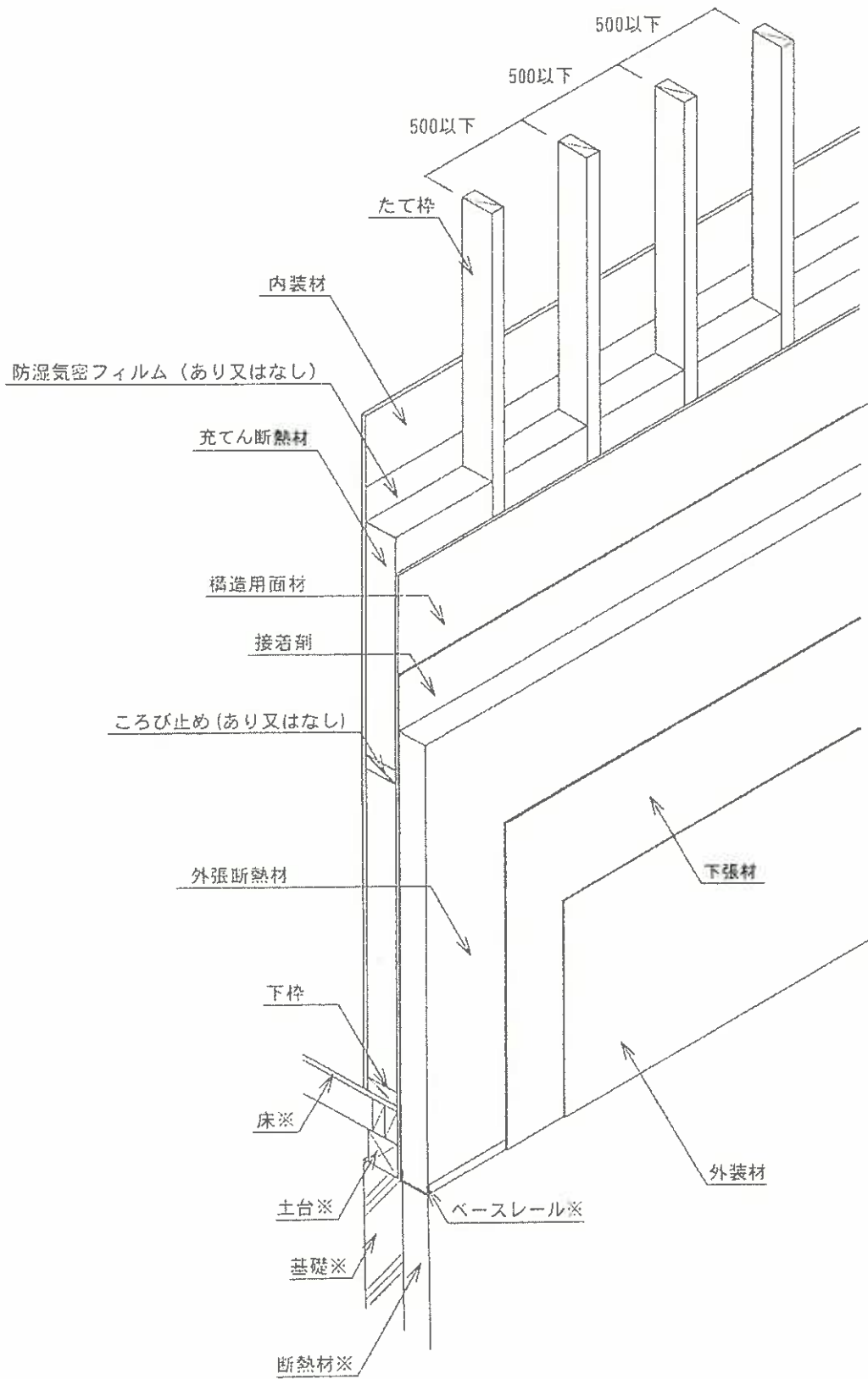
つづく

つづき

接着剤	断熱材固定用： 調合(質量%)： 炭酸カルシウム 66.8(±3.4) セルロース繊維 0.2(±0.1) スティーロアクリル結合剤 20.0(±2.0) 水 10.0(±1.0) セルロース・白雲母・界面活性剤・解膠剤・膜構成剤 3.0(±0.3) 塗厚：3mm 以上
-----	--

5. 仕様の構造説明図：

構造説明図を図1及び図2に示す。



※評価対象外

透視図

図1 構造説明図

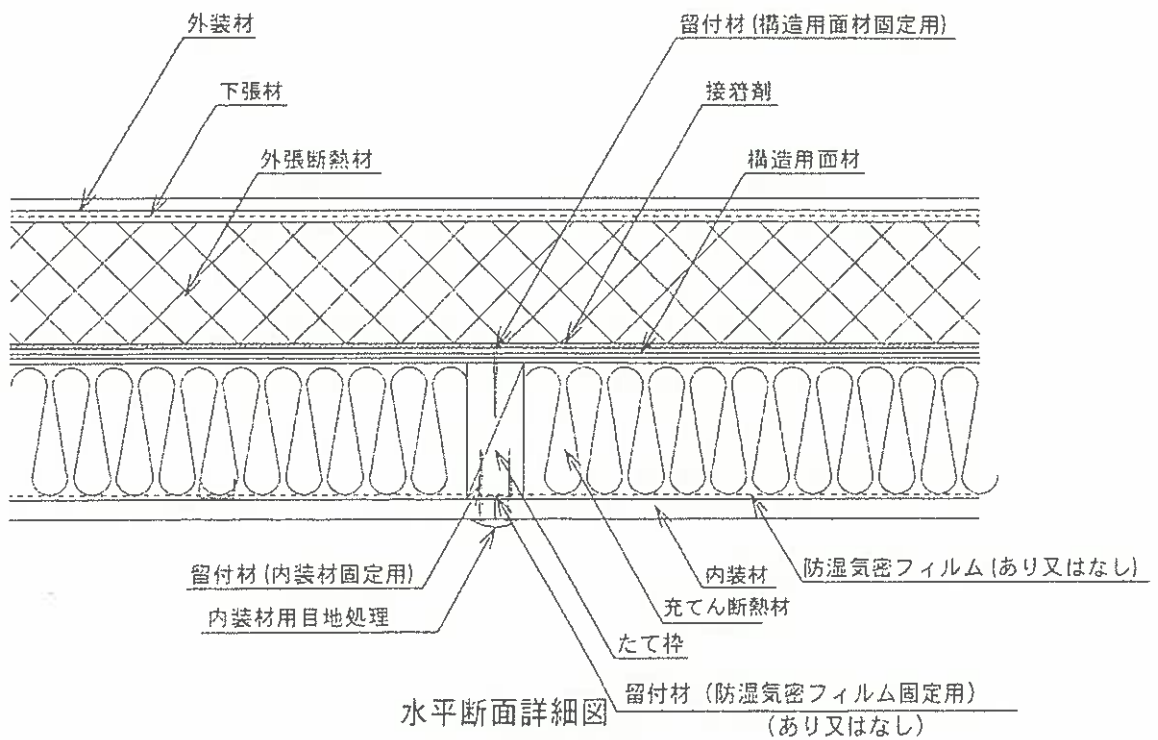
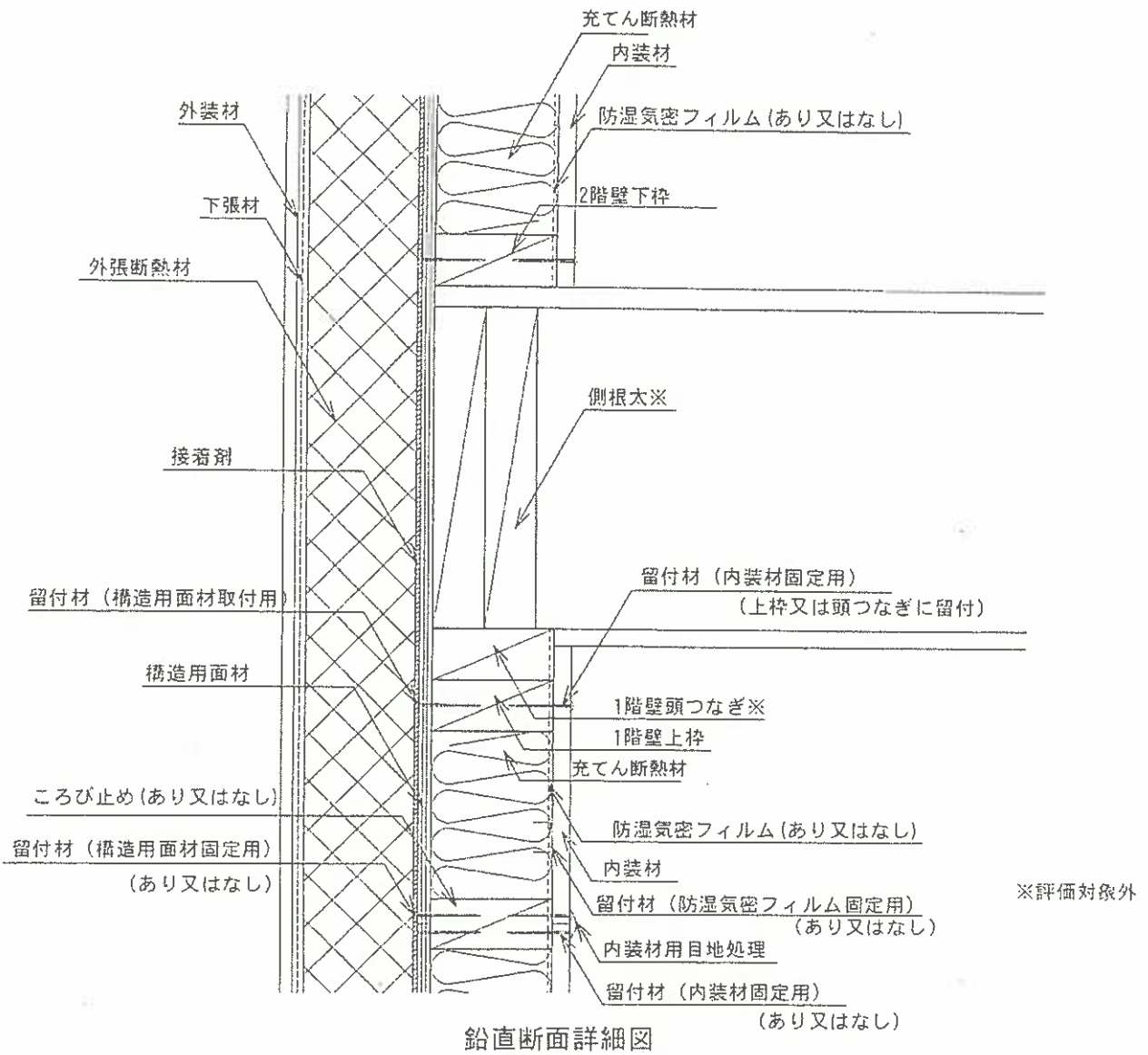


図2 構造説明図

6. 施工条件：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 下地の組立

たて枠、上枠及び下枠は反り曲がりのないものを使用し、たて枠は土台の上部に垂直に500mm以下の間隔で取付ける。

(2) 構造用面材の取付け

構造用面材は、たて枠、上枠及び下枠の表面に、構造用面材固定用留付材を用いて取付ける。又、横目地を設ける場合は、必要に応じてころび止めを設ける。

(3) 外張断熱材の取付け

外張断熱材は、構造用面材の表面に、断熱材固定用接着剤を用いて取付け、接着剤が固まるまで養生する。(24時間以上)

(4) 下張材の施工

- ・接着剤の養生後、樹脂モルタルを塗り込む。
- ・樹脂モルタルの上からガラス繊維メッシュを伏込み、合計の厚さが4mm以上となるように調整する。なお、ガラス繊維メッシュの継ぎ目は、100mm以上重ね合わせ、浮き上がり、たるみのないようにする。

(5) 外装材の施工

- ・下張材の表面に外装材(仕上げ塗り材)を4mm以上塗付け、24時間以上養生を行う。
- ・養生後、外装材(仕上げ塗装剤)をローラーを用いて0.3mm以下になるよう塗付ける。

(6) 充てん断熱材の充てん

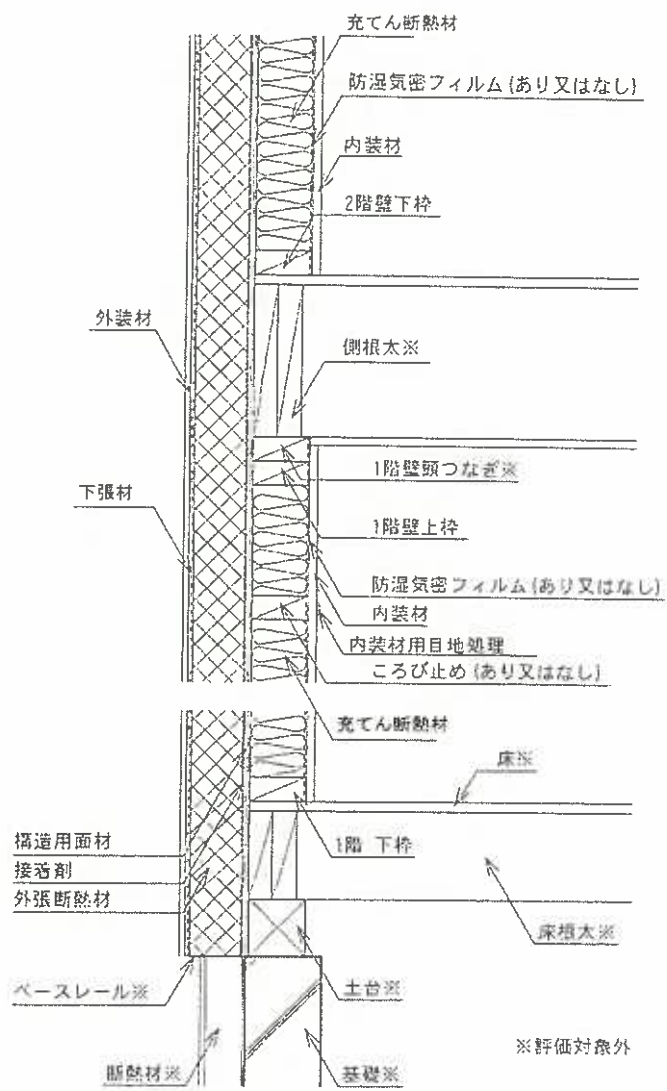
内装材を取付ける前に、充てん断熱材を枠材の間に充てんする。

(7) 防湿気密フィルムの取付け(防湿気密フィルムを用いる場合)

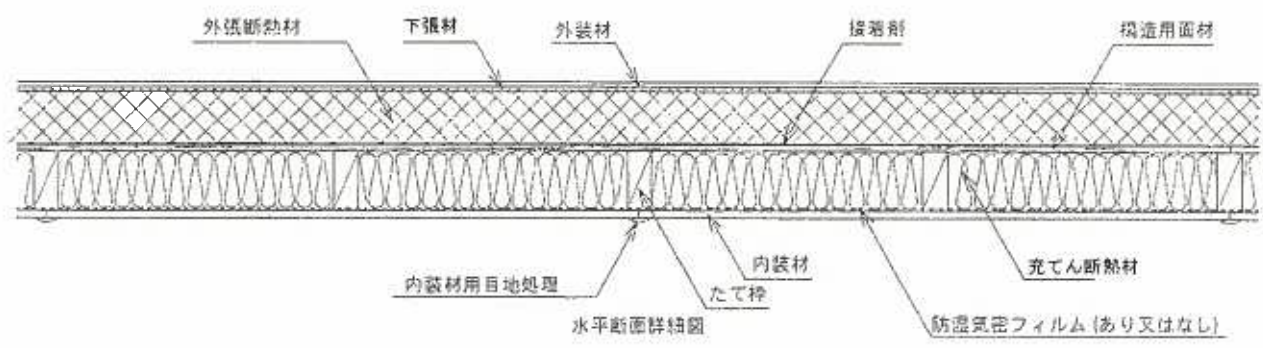
- ・防湿気密フィルムは横張又は縦張とし、重ね代は縦方向、横方向共に90mm以上とする。
- ・取付けはできるだけ、たるみ・しわのないようにし、防湿気密フィルム固定用留付材を用いて仮留めする。

(8) 内装材の取付け

- ・内装材は、内装材固定用留付材を用いてたて枠、上枠及び下枠の表面に取付ける。
- ・目地部には、内装材用目地処理材を施す。



鉛直断面詳細図



水平断面詳細図

図3 施工図